

Google Cloud サービスの概要

Google Cloud Platform サービスと SecOps サービスを構成する全サービスの一覧を以下に示します。Google は、ほかにも多くのサービスと API を提供していますが、Google が Google Cloud Platform サービスまたは SecOps サービスを提供するために合意した契約、サービスレベル契約（該当する場合）、およびサポート サービス（以下「本契約」）の対象となるのは、以下のサービスのみです。以下にソフトウェアまたはプレミアム ソフトウェアとして特定されているサービスは、本契約および Cloud のデータ処理に関する追加条項におけるサービスではありません。

疑念の発生を避けるために記すと、「Google Cloud Platform サービスの概要」に記載されているサービスは SecOps サービスではなく、その逆も同様です。

アスタリスク 付きのサービスは、Google の書面による特別な許可がない限り、Google Cloud Partner Advantage プログラムで再販することはできません。

Google Cloud Platform サービスの概要

コンピューティング

App Engine: App Engine を使用すると、Google アプリケーションを実行しているのと同じシステム上でアプリケーションをビルドおよびホストできます。App Engine により、迅速な開発やデプロイが可能となります。また、ハードウェア、パッチ、バックアップについて心配する必要がなく、スケールする手間もかからないため、管理を簡略化できます。

Batch: Batch は、大規模なバッチジョブを作成できるフルマネージド サービスです。特定の Google Cloud リソースを動的にプロビジョニングし、リソース上でバッチジョブをスケジュールし、ジョブのキューを管理してジョブを実行します。Batch は、ストレージ、ロギング、モニタリング用の Google Cloud サービスとネイティブに統合されています。

ブロックチェーン ノード エンジン: ブロックチェーン ノード エンジンは、Web3 開発用のフルマネージド ノード ホスティング サービスです。

Compute Engine: Compute Engine は、クラウド内でスケーラブルかつ柔軟な仮想マシン コンピューティング機能を提供し、特定の CPU、GPU、または Cloud TPU を活用するオプションも用意されています。Compute Engine を使用すると、Google のコンピューティング、ストレージ、ネットワーク インフラストラクチャにおける大規模な処理や分析の問題を解決できます。

Google Cloud VMware Engine (GCVE): GCVE は、Google Cloud Platform 上で VMware ワークロードを実行するために特別に設計された、マネージド型の「サービスとしての VMware」です。GCVE を使用すると、専用のプライベート ソフトウェア定義データセンターで VMware 仮想マシンをネイティブに実行できます。

VM Manager: VM Manager は、Compute Engine 上で Windows と Linux を実行している仮想マシンフリートでオペレーティング システムの管理を行うためのツール群です。

Workload Manager: Workload Manager は、Google Cloud 上で実行されているワークロードを評価するためのルールベースの検証サービスです。Workload Manager を有効にすると、アプリケーションのワークロードをスキャ

ンし、標準、ルール、ベストプラクティスからの逸脱を検出することで、システムの品質、信頼性、パフォーマンスが向上します。

ストレージ

Backup for GKE: Backup for GKE を使用すると、Google Kubernetes Engine クラスタ上で実行されているワークロードのデータを保護できます。

Cloud Storage: Cloud Storage は、お客様のデータを Google のインフラストラクチャに格納して、そのデータにアクセスするための RESTful サービスです。このサービスは、Google のクラウドのパフォーマンスとスケーラビリティに、高度なセキュリティ機能と共有機能を組み合わせたものです。

Persistent Disk: Persistent Disk は、Google Cloud Platform に適した高い耐久性とパフォーマンスを誇るブロックストレージ サービスです。Compute Engine または Google Kubernetes Engine で実行されるインスタンスにアタッチ可能な SSD ストレージと HDD ストレージを提供します。

Cloud Filestore: Cloud Filestore は、スケーラブルで可用性の高い Google のフルマネージド共有ファイル サービスです。Cloud Filestore は、共有ワークロードに最適な永続ストレージを提供します。NFS によってアクセスされる、あるいは POSIX 準拠のファイル システムを必要とする永続的で耐久性の高い共有ストレージが必要なエンタープライズ アプリケーションに最適です。

*Cloud Storage for Firebase: Cloud Storage for Firebase は、お使いの Firebase アプリのファイルのアップロードとダウンロードにカスタマイズ可能な Google セキュリティを (Cloud Storage の Firebase セキュリティ ルールを通じて) 追加するほか、Firebase SDK を通じてネットワーク品質に左右されない堅牢なアップロードとダウンロードを実現します。Cloud Storage for Firebase は、Google のインフラストラクチャ上でデータを保存し、そのデータにアクセスするためのサービスである Cloud Storage によってサポートされています。

NetApp Volumes: NetApp Volumes は、NetApp が提供する ONTAP をベースにしたフルマネージドのファイル サービスであり、SMB、NFS、マルチプロトコル ファイルに対応した、ファイル共有、ビジネス アプリケーション、エンタープライズ ワークロード用の高性能ストレージを実現します。

データベース

AlloyDB: AlloyDB は、要求の厳しいトランザクション ワークロードと分析ワークロード用のフルマネージド データベースであり、PostgreSQL に対応しています。オープンソースの PostgreSQL への対応を維持しながら、エンタープライズ グレードのパフォーマンスと可用性を実現できるように設計されています。

Cloud Bigtable: Cloud Bigtable は、高速かつスケーラブルなフルマネージド NoSQL データベース サービスです。1 TB から数百 PB までのデータの収集と保持を目的として設計されています。

Datastore: Datastore はフルマネージドでスキーマレスな非リレーショナル データストアです。豊富なクエリ機能を備え、アトミックトランザクションに対応しており、負荷に応じて自動的にスケールアップおよびスケールダウンします。アプリケーションのユーザー数が 1,000 人であっても 1,000 万人であってもコードを変更することなくスケールできます。

Firestore: Firestore は、モバイルアプリとウェブアプリのデータを保存、同期、クエリするための NoSQL ドキュメント データベースです。クライアント ライブラリの形でリアルタイム同期とオフライン サポートを提供し、さらにその充実したセキュリティ機能、Firebase および Google Cloud Platform とのインテグレーションにより、サーバーレスなアプリの開発を促進します。

Memorystore: Memorystore には Memorystore for Redis と Memorystore for Memcached が含まれ、ミリ秒未満のデータアクセスを実現する分散キャッシュを顧客がデプロイできる、フルマネージドのインメモリ データストア サービスを提供します。

Cloud Spanner: Cloud Spanner は、ミッション クリティカルな業務に対応できるフルマネージドのリレーショナル データベース サービスです。グローバル規模で高可用性と強整合性を備えたスケーラブルなオンライントランザクション処理(OLTP)データベースを提供するために設計されています。

Cloud SQL: Cloud SQL は、Google のクラウドに存在するリレーショナル データベースを作成、構成、使用できるウェブサービスです。データベースを維持、運用、管理するフルマネージド サービスなので、開発者は自分のアプリケーションとサービスに集中できます。

ネットワーキング

Cloud CDN: Cloud CDN は世界各地に分散された Google のエッジ拠点をを使用して、HTTP(S) のロードバランスされたコンテンツをユーザーの近くでキャッシュに保存します。

Cloud DNS: Cloud DNS は、高いパフォーマンスとレジリエンスを備えた、グローバルでフルマネージドな DNS サービスであり、アプリケーションやサービスの DNS レコードを公開および管理するための RESTful API を提供します。

Cloud IDS (Cloud Intrusion Detection System): Cloud IDS は、特定のマルウェア、スパイウェア、コマンド&コントロール攻撃、その他のネットワークベースの脅威の検出を支援するマネージド サービスです。

Cloud Interconnect: Cloud Interconnect は、Dedicated Interconnect、Partner Interconnect、Cloud VPN 向けの Google サービスを使用して、Google Cloud Platform へのエンタープライズ グレードの接続を実現します。このソリューションを使用すると、オンプレミス ネットワークを Virtual Private Cloud に直接接続できます。

Cloud Load Balancing: Cloud Load Balancing は、インターネット接続を行うアプリケーションとプライベート アプリケーション向けのスケーリング、高可用性、トラフィック管理を実現します。

Cloud NAT (ネットワーク アドレス変換): Cloud NAT を使用すると、プライベート ネットワーク内のインスタンスがインターネットと通信できるようになります。

Cloud NGFW: Cloud NGFW は完全分散型のクラウドネイティブなファイアウォール サービスであり、ユーザー定義のファイアウォール ポリシーに従ってネットワーク上の送受信トラフィックを評価します。

- Cloud NGFW Enterprise: Cloud NGFW Enterprise は、ネットワーク上のマルウェア、スパイウェア、コマンド&コントロール攻撃に対するインライン保護を実現する「侵入防止システム」(IPS)を備えた Cloud NGFW のエディションです。

Cloud Router: Cloud Router を使用すると、VPC ネットワークと Google 以外のネットワークの間で Border Gateway Protocol (BGP) ルートが動的に更新されます。

Cloud VPN: Cloud VPN を使用すると、お使いのオンプレミス ネットワーク、別の VPC ネットワーク、別のクラウドプロバイダのネットワークなどの既存のネットワークから、次のいずれかの手段を使用した IPsec 接続を介して、Virtual Private Cloud (VPC) ネットワークに接続できます: (i) 動的 (BGP) ルーティングまたは静的ルーティング (ルートベースまたはポリシーベース) に対応している Classic VPN、または (ii) 簡素化された冗長設定、ゲートウェイ インターフェースの個別の障害発生ドメイン、より高いサービスレベル目標による動的ルーティングに対応している HA (高可用性) VPN。

*Firebase App Hosting: Firebase App Hosting は、最新のフルスタック ウェブアプリ向けのサーバーレス ウェブホスティング プロダクトです。GitHub と統合し、ビルドから CDN、サーバーサイド レンダリングまで、スタック全体を管理します。Firebase App Hosting には、Next.js や Angular などの一般的なウェブ フレームワーク用の構成不要なアダプタが組み込まれており、静的サイト生成、サーバーサイド レンダリング、クライアントサイド レンダリングに対応しています。

Google Cloud Armor: Google Cloud Armor は、インターネットに接続されたアプリケーションへのアクセスをカスタマイズし、サービス拒否攻撃や標的型アプリケーション攻撃に対する防御を導入するためのポリシー フレームワークとルール言語を提供します。Google Cloud Armor のコンポーネントには、L3/L4 ボリューム型 DDoS 対策、事前構成されたウェブ アプリケーション ファイアウォール(WAF)ルール、カスタムルール言語が含まれます。

Google Cloud Armor Enterprise: Google Cloud Armor Enterprise は、Google Cloud Armor WAF と DDoS Protection に、DDoS 対応サポート、DDoS 請求対策、Google Cloud Armor Adaptive Protection(インターネット接続されたエンドポイントをネットワークおよびアプリケーション ベースの攻撃から保護する Google の ML ベースのソリューション)などの追加サービスと追加機能をバンドルした、マネージド アプリケーション保護サービスです。

Media CDN: Media CDN は、Google のグローバル エッジ キャッシュ ノードを活用して、優れたキャッシュ効率とエンドユーザー エクスペリエンスを実現するコンテンツ配信ネットワークです。

Network Connectivity Center: Network Connectivity Center は、Google Cloud でのネットワーク接続管理のためのハブアンドスポーク モデルであり、顧客のリソースを容易にクラウド ネットワークに接続できるようにします。

Network Intelligence Center: Network Intelligence Center は、ネットワークのモニタリング、検証、最適化を包括的に行える Google Cloud のプラットフォームであり、Google Cloud、マルチクラウド、オンプレミス環境にまたがって使うことができます。

Network Service Tiers: Network Service Tiers を使用すると、インターネットへのアウトバウンドトラフィックについて、さまざまな品質のネットワーク(ティア)から選択できます。スタンダードティアでは主に第三者の中継プロバイダを利用しますが、プレミアムティアではアウトバウンド データ移転に Google のプライベート バックボーンとピアリング サービスを利用します。

Private Service Connect: Private Service Connect により、VPC ネットワーク内からマネージド サービスへのプライベート アクセスが可能になります。また、マネージド サービス プロデューサーがサービスを個別の VPC ネットワークでホストし、コンシューマーとのプライベート接続を提供できるようにします。

Secure Web Proxy(SWP): SWP は、クラウド ワークロードを保護するためのシンプルかつスケーラブルなクラウドファースト ウェブプロキシを提供し、Google Cloud でホストされるワークロードと外部の宛先との間のウェブトラフィックのモニタリング、コンテンツ検査、きめ細かなポリシー制御を可能にします。

Service Directory: Service Directory は、環境にかかわらず、一貫した方法でサービスを公開、検出、接続するための単一の場所を顧客に提供するマネージド サービスです。Service Directory は、Google Cloud、マルチクラウド環境、オンプレミス環境にあるサービスをサポートし、単一のプロジェクトで数千のサービスとエンドポイントにまでスケールアップできます。

Spectrum Access System: Spectrum Access System により、商用として共同利用が可能な 3.5 GHz 帯の米国の市民ブロードバンド無線サービス(CBRS)にアクセスできます。Spectrum Access System を使用すると、CBRS デバイスの登録、CBRS のデプロイの管理、非本番テスト環境(提供されている場合)へのアクセスが可能です。

Telecom Network Automation: Telecom Network Automation は、Google Cloud がオープンソースの Nephio を実装したものであり、シンプルで通信会社グレードのクラウドネイティブな自動化を実現し、intentベースのネットワーク構築をサポートします。

Virtual Private Cloud: Virtual Private Cloud では、IP 割り振りポリシー、ルーティング ポリシー、ネットワーク ファイアウォール ポリシーを備えたプライベート ネットワークトポロジがあり、デプロイのための安全な環境を構築できます。

運用

Cloud Logging: Cloud Logging は、何千もの VM とコンテナからアプリケーションとシステムのログデータ、さらにカスタム ログデータを取り込み、大規模に処理できるフルマネージド サービスです。選択したログを分析し、長期保存のためにリアルタイムでエクスポートできます。

- Cloud Error Reporting: Cloud Error Reporting は、クラウド アプリケーションのエラーを分析して集計し、新しいエラーが検出されたときに通知します。

Cloud Monitoring: Cloud Monitoring では、クラウドで実行されるアプリケーションのパフォーマンスや稼働時間、全体的な健全性を確認できます。Cloud Monitoring は、特定のサービス、ホストされた稼働時間プローブ、アプリケーション計測手法、アラート管理、通知、よく使われるさまざまなアプリケーション コンポーネントから、指標、イベント、メタデータを収集します。

Cloud Profiler: Cloud Profiler は、本番環境のアプリケーションのリソース消費を継続的にプロファイリングします。この情報を使って潜在的なパフォーマンスの問題を特定し、解消できます。

Cloud Trace: Cloud Trace は、URL ごとの統計やレイテンシ分布など、App Engine のレイテンシをサンプリングし、そのレポートを提供します。

Google Cloud Backup and DR: Google Cloud Backup and DR は、Google Cloud 内のワークロードを一元的に保護する、バックアップと障害復旧のためのマネージド サービスです。

デベロッパー ツール

Artifact Registry: Artifact Registry は、コンテナ イメージとパッケージを管理するためのサービスです。Google Cloud のツールとランタイムに統合されており、ネイティブのアーティファクト プロトコルに対応しています。これにより、CI / CD ツールと簡単に統合して自動化パイプラインを設定できるようになります。

Assured Open Source Software (AOSS): AOSS は、Google が使用しているものと同じスキャン、分析、ファズテスト済みのオープンソース ソフトウェア パッケージを使用して、オープンソース ソフトウェアを使用する企業や公共部門のユーザーが自社のデベロッパー ワークフローに簡単に組み込むことができるサービスです。

Cloud Build: Cloud Build は、Google Cloud Platform インフラストラクチャでビルドを行うサービスです。Cloud Storage、Cloud Source Repositories、GitHub、Bitbucket からソースコードをインポートし、仕様に合わせてビルドを実行して、Docker コンテナや Java アーカイブなどのアーティファクトを生成します。

Cloud Deploy: Cloud Deploy は、Google Kubernetes Engine に対するアプリケーションの継続的デリバリーを管理して実行するためのサービスです。アプリケーションの配信プロセスの詳細な説明と制御が可能になります。

Cloud Source Repositories: Cloud Source Repositories には、App Engine や Compute Engine 上で動作するものなど、あらゆるアプリケーションやサービスのコラボレーション開発をサポートするための Git バージョン管理機能が用意されています。

Cloud Workstations: Cloud Workstations は、セキュリティが強化された、カスタマイズ可能なフルマネージドの開発環境を提供します。これにより管理者は、開発環境のプロビジョニング、スケール、管理、保護を容易に行うことができます。また開発者は、ブラウザまたはローカル統合開発環境 (IDE) を介して高速な開発環境を利用できます。

Container Registry: Container Registry は、Google Cloud Platform 上のプライベート Docker イメージ ストレージ システムです。レジストリには HTTPS エンドポイントからアクセスできるため、Compute Engine インスタンスまたは所有するハードウェアのどちらであるかに関係なく、自分のマシンからイメージを pull できます。

Developer Connect: Developer Connect を使用すると、Google Cloud 外部のソースコード管理プラットフォームへの接続を作成して維持できます。

*Firebase Test Lab: Firebase Test Lab を使用すると、テストコードを使用してモバイルアプリをテストしたり、Google データセンターでホストされているさまざまなデバイスやデバイス構成で自動的にテストしたりできます。テスト結果は Firebase コンソールで確認できます。

Secure Source Manager: Secure Source Manager は、Git ベースのソースコード管理システムを提供するフルマネージド サービスです。

Test Lab: Test Lab を使用すると、クラウド内の物理デバイスと仮想デバイスを使用してモバイルアプリをテストできます。デバイス構成のマトリックスでインストールメンテナー テストやスクリプトなしのロボットテストを実行し、モバイルアプリの品質向上につながる詳細な結果を報告します。

データ分析

BigQuery: BigQuery は、企業がビッグデータを分析するためのフルマネージドのデータ分析サービスです。数百テラバイトまで対応し、数テラバイトのデータセットであればアドホック クエリを実行し、ウェブ経由でデータ分析情報を共有できるスケーラブルなデータ ストレージが特長です。

Cloud Composer: Cloud Composer は、クラウドとオンプレミスのデータセンターにまたがるパイプラインを作成、スケジュール、モニタリングできるマネージドのワークフロー オーケストレーション サービスです。Cloud Composer では、複雑な Airflow インフラストラクチャを作成して管理する手間をかけずに Apache Airflow を使用できます。

Cloud Data Fusion: Cloud Data Fusion は、データ パイプラインを迅速に構築し管理するための、フルマネージドかつクラウドネイティブなエンタープライズ データ統合サービスです。Cloud Data Fusion にはグラフィカル インターフェイスが用意されているため、時間効率が高まり、複雑さが軽減されます。また、ビジネス ユーザー、開発者、データ サイエンティストがインフラストラクチャに煩わされることなく、データのクレンジング、準備、統合、移転、変換を行うスケーラブルなデータ統合ソリューションを簡単かつ確実に構築できます。

Cloud Life Sciences(旧 Google Genomics): Cloud Life Sciences は、ライフ サイエンス データを管理、処理、変換するためのサービスとツールを提供します。

Data Catalog: Data Catalog はフルマネージドのスケーラブルなメタデータ管理サービスです。このサービスを利用すると、Google Cloud 内のデータを迅速に検出、管理、把握できます。特定の Google Cloud サービス全体にわたる一元的なデータカタログが提供されるため、データ アセットをまとめて確認できます。

Dataform: Dataform は、データ アナリスト向けに複雑な SQL ワークフローを開発、テスト、バージョン管理、スケジュールするためのエンドツーエンドのエクスペリエンスを提供します。

Dataplex: Dataplex は、分散データを統合し、そのデータ全体の管理とガバナンスを自動化して大規模な分析を可能にするインテリジェントなデータ ファブリックです。

Dataflow: Dataflow は、強整合性を備えた並列データ処理パイプラインを実現するフルマネージド サービスです。バッチ処理または連続処理用のデータ処理パイプラインを構築するためのコンポーザ可能なプリミティブを備えた Java 用 SDK を提供します。このサービスは、処理パイプラインの Compute Engine リソースのライフサイクルを管理します。また、パイプラインの健全性を把握するためのモニタリング用ユーザー インターフェースも提供します。

Dataproц: Dataproц は、分散データ処理のための高速かつ使いやすいマネージド Spark / Hadoop サービスです。豊富なオープンソースのデータ処理ツールの性能を最大限に発揮させるための管理、統合、開発ツールを提供します。Dataproц では、必要に応じてワークロードのサイズに合わせた Spark / Hadoop クラスタを正確に作成できます。Dataproц には、使用と管理をシンプルにする Spark クラスタのサーバーレス構成など、いくつかのフレーバーがあります。

Dataproц Metastore: Dataproц Metastore は、技術的なメタデータ管理をシンプルにし、機能豊富な Apache Hive メタストアをベースにした、フルマネージドのメタストア サービスを提供します。Dataproц Metastore は、Apache Hadoop、Apache Spark、Apache Hive、Presto など、オープンソースの処理フレームワーク上に構築されたデータレイクのメタデータ ストレージ サービス コンポーネントとして使用できます。

Datastream: Datastream は、種類が異なるデータベース、ストレージ システム、アプリケーションの間で遅延を最小限に抑えたデータ同期を可能にする、サーバーレスの変更データ キャプチャ(CDC) &レプリケーション サービスです。

Google Earth Engine: Google Earth Engine は、地理空間データセットをグローバル スケールで分析し、可視化するためのプラットフォームです。Google Earth Engine は、カスタム データセット、または Earth Engine Data Catalog でホストされている(定期的に取り込まれる)一般公開の衛星画像のいずれでも使用できます。

Looker(Google Cloud コア): Looker(Google Cloud コア)は、Google インフラストラクチャ上でホストされるビジネス インテリジェンスと埋め込み分析ソリューションです。Looker(Google Cloud コア)を使用すると、さまざまなデータソースを使用してセマンティック モデルを構築し、カスタマイズされた分析情報をモデルから作成し、ダッシュボードなどのサービスを介したコラボレーションを可能にするために、その分析情報を共有できます。

*Looker Studio: Looker Studio は、データを可視化し、ビジネス インテリジェンスを提供するプロダクトです。これにより、他のシステムに保存されているデータに接続し、そのデータを使用してレポートとダッシュボードを作成し、組織全体でそれらを共有できます。これは、管理コンソールで Looker Studio のクラウド利用規約を選択した場合にのみ利用できます。

- Looker Studio Pro: Looker Studio Pro は Looker Studio の有料エディションであり、エンタープライズ ガバナンス機能やチーム管理機能のほか、<https://cloud.google.com/looker-studio/> または後継の URL に記載されているその他の機能が追加されています。Looker Studio とは異なり、Looker Studio Pro はパートナー様による再販が可能です。

Pub/Sub: Pub/Sub は、信頼性の高い、多対多の非同期メッセージングをアプリケーション間で実現するように設計されています。パブリッシャー アプリケーションはメッセージを「トピック」に送信でき、その他のアプリケーションはそのトピックにサブスクライブしてメッセージを受信できます。Pub/Sub では、送信者と受信者を分離することにより、独立して作成されたアプリケーション間で通信できます。

Managed Service for Apache Kafka: Managed Service for Apache Kafka は信頼できる安全な Kafka クラスタとサポート サービスを実行します。

AI / ML サービス

AI ソリューション

Agent Assist: Agent Assist は LLM を活用した AI ソリューションであり、リアルタイムなアシスタントの役割を果たし、人間のエージェントの生産性を向上させ、カスタマー サービスを強化します。

Anti Money Laundering AI(AML AI): AML AI は、AI によるリスクスコアを使用して金融機関の以前の取引モニタリング システムを強化し、金融犯罪リスクの検出能力を向上させます。

*Automotive AI Agent: Automotive AI Agent は、幅広い自動車関連のデバイスやアプリケーション向けの音声エージェント機能を構築してデプロイするための、ハイブリッドなオンアセットおよびオンラインの音声エージェントフレームワークです。

- Automotive AI Agent API: Automotive AI Agent API は、音声エージェント機能の作成、管理、デプロイに使用されます。これには、自動車関連の一部のトレーニング済み音声エージェントへのアクセスが含まれます。
- Automotive AI Agent Premium Software: Automotive AI Agent ソリューションには、以下に示すプレミアムソフトウェアコンポーネントが含まれています。

会話型 AI (旧称 Contact Center AI (CCAI)): 会話型 AI は、AI を活用してコンタクト センターでのカスタマーエクスペリエンスを向上させます。会話型 AI には、Agent Assist、Dialogflow Essentials、Dialogflow Customer Experience Edition (CX)、Insights、Speech-to-Text、Text-to-Speech、Speaker ID などがあります。

会話型分析情報 (旧 Contact Center AI Insights): 会話型分析情報は、センチメントやトピックを識別し、データ内の重要な分析情報をハイライト表示することで、コンタクト センターのデータを有効に活用できるようにします。

Dialogflow Essentials (ES): Dialogflow ES は、顧客のアプリケーションやテレフォニー、デジタル プラットフォームに接続できる音声およびテキストによる会話型アプリの開発スイートです。

Dialogflow Customer Experience (CX) Edition: Dialogflow CX は、chatbot や音声 bot などの会話型 AI アプリケーションを作成するための開発スイートです。これには、視覚的な bot 構築プラットフォーム、コラボレーション ツールやバージョンング ツール、bot モジュール化ツール、高度な IVR 機能のサポートなどが含まれます。

Document AI: Document AI はドキュメント処理向けの統合コンソールであり、ドキュメント処理用のすべてのモデルとツールにすばやくアクセスできます。顧客は、OCR モデル、Form パーサーモデル、特殊なモデルなど、Document AI のトレーニング済みモデルを使用してドキュメントを抽出できます。

- Document Workbench: Document Workbench では、カスタム分類モデル、抽出モデル、または分割モデルを構築できます。
- *人間参加型 AI: 人間参加型 AI は Document AI を使用して、ドキュメントから抽出されたデータを人間が検証するためのワークフロー ツールを提供します。
- Document AI ウェアハウス: Document AI ウェアハウスは、エンタープライズドキュメント ワークフローと統合してドキュメントとそのメタデータを保存、検索、整理する、スケーラビリティに優れたフルマネージドのデータ マネジメントおよびガバナンス プラットフォームです。

*デリバリー & テイクアウト AI エージェント: デリバリー & テイクアウト AI エージェントは、デリバリー & テイクアウトオペレーションを強化するために設計された、事前構築済みの会話型 AI エージェントです。Gemini、Speech-to-Text、Text-to-Speech など、Google 独自のモデルを活用して、デリバリー & テイクアウト プロセス (ドライブスルー窓口を含む) を自動化するほか、BigQuery や Looker に接続して、レストラン運営者にデータに基づく運営分析情報を提供します。

Google Cloud Contact Center as a Service (CCaaS) (旧 Contact Center AI (CCAI) プラットフォーム): Google Cloud CCaaS は、会話型 AI を活用した Contact Center as a Service (CCaaS) プラットフォームです。CRM やキューと直接統合し、音声とデジタル チャネルを介した顧客とのやり取りを人間のエージェントを含むリソースプールにルーティングします。

*Talent Solution: Talent Solution は、Google の ML へのアクセスを提供し、企業のキャリアサイト、求人掲示板、ATS、人材派遣会社、その他の採用テクノロジー プラットフォームで人材獲得のための機能や業務を向上させます。

Translation Hub: Translation Hub は、従業員がオンデマンドでドキュメントを多くの他言語に翻訳できる仕組みを必要とする組織向けの、フルマネージドドキュメント翻訳ソリューションです。

Vertex AI Search for Industry: Vertex AI Search for Industry を使用すると、小売やメディアなどの業種の顧客が、Google 品質の検索結果と推奨事項を提供できるようになります。

- Vertex AI Search for Commerce
- *Recommendations AI: Recommendations AI を使用すると、ML モデルを使用してパーソナライズされた推奨システムを構築できます。
- *Recommendation Engine API: Recommendation Engine API は、Recommendations AI のバージョン 1 API です。
- *Retail Search: Google の Retail API を利用した Retail Search を使用すると、小売業者は小売ウェブサイトや小売アプリケーションで Google の検索機能を活用できます。

事前トレーニング済み API

Cloud Natural Language API: Cloud Natural Language API はテキストを分析して、エンティティ、センチメント、言語、構文を識別します。

Cloud Translation API: Cloud Translation API は、テキストをある言語から別の言語に自動翻訳します。

Cloud Vision: Cloud Vision は、画像を複数のカテゴリに分類し、個々のオブジェクトや顔を検出するほか、表示されている単語を検出して読み取ります。

Media Translation API: Media Translation API は、ある言語から別の言語(フランス語から英語など)に音声进行自動翻訳し、リアルタイムでのストリーミングに対応している gRPC API です。

*Speaker ID: Speaker ID を使用すると、ユーザーの音声プリントを登録し、後で登録済みの音声プリントと照合してユーザーを検証できます。

Speech On Device: Speech On Device は、音声文字変換サービスとテキスト読み上げサービスを、組み込みハードウェアやオペレーティング システムにローカルにデプロイします。

Speech-to-Text: Speech-to-Text は、ニューラル ネットワーク モデルを適用して音声をテキストに変換します。

Text-to-Speech: Text-to-Speech は、さまざまな音声や言語の入力テキストに基づいて、人間の声のような音声を合成します。

Timeseries Insights API: Timeseries Insights API を使用すると、大規模な時系列予測と異常検出をリアルタイムで実行できます。

Video Intelligence API: Video Intelligence API は動画を分析してメタデータを抽出し、アノテーションを追加して、動画内のエンティティを識別します。

Visual Inspection AI: Visual Inspection AI は、画像内で発見された異常を自動的に検出し、分類して特定することで、生産品質を向上させ、分析情報を作成します。

AI Platform / Vertex AI

AI Platform Data Labeling: AI Platform Data Labeling を使用すると、ML モデルのトレーニングと評価のために開発者はデータにラベルを付けて、そのラベルを一元管理できます。

AI Platform Training and Prediction: AI Platform Training and Prediction を使用すると、ML モデルを容易にトレーニングしてデプロイできます。

AutoML: AutoML を使用すると、Google の転移学習とニューラル アーキテクチャ検索を活用し、さまざまなデータタイプを使用してカスタムモデルを構築できます。AutoML サービスには、AutoML Natural Language、AutoML Tables、AutoML Translation、AutoML Video、AutoML Vision が含まれます。

Vertex AI Platform: Vertex AI Platform は、AI と ML の開発ライフサイクルを管理するためのサービスです。これにより、(i) データセット、ラベル、特徴、モデルを保存、管理し、(ii) Google Cloud アルゴリズムまたはカスタムトレーニングコードを使用してモデルをトレーニング、評価し、実験を実施するためのパイプラインを構築し、(iii) オンラインまたはバッチのユースケース向けにモデルをデプロイし、(iv) Colab Enterprise と Vertex AI Workbench (Notebooks と呼ばれます) を使用してデータサイエンスワークフローを管理し、(v) Vertex Decision Optimization を使用してビジネス最適化プランを作成できます。

Vertex AI Neural Architecture Search (NAS): Vertex AI NAS は、Google のニューラル アーキテクチャ検索テクノロジーを使用して、アプリケーションのためのモデルアーキテクチャを生成、評価、トレーニングします。

Vertex AI Vision: Vertex AI Vision は、フルマネージドでエンドツーエンドのアプリケーション開発環境を使用して、コンピュータビジョンアプリケーションを容易に構築、デプロイ、管理できるサービスです。

生成 AI サービス

Gemini for Google Cloud (旧称 Duet AI for Google Cloud): Gemini for Google Cloud は、広範な Google Cloud プロダクトに対応しており、AI によってエンドユーザーを支援します。Gemini for Google Cloud は、Google Cloud のエンドユーザーを支援する、生成 AI によるコラボレーション サービスです。Gemini for Google Cloud は多数の Google Cloud プロダクトに組み込まれており、そのプロダクトと統合されている状態で、開発者、データサイエンティスト、オペレーターを支援します。Gemini for Google Cloud で利用可能な AI アシスタンスの詳細については、<https://cloud.google.com/gemini/docs/overview> をご覧ください。

- Gemini Code Assist (旧称 Duet AI for Developers) は、ソフトウェア開発ライフサイクル全体にわたって、開発チームがアプリケーションを構築、デプロイ、運用できるように AI を活用して支援します。
- Gemini in BigQuery は、データライフサイクル全体にわたってデータを理解、クエリ、操作できるように AI を活用して支援します。

Vertex AI の生成 AI: Vertex AI の生成 AI とは、以下のサービスをはじめとする、Vertex AI 内の生成 AI 機能を備えたあらゆるサービスを指します。

- Vertex AI API を使用すると、API を介して生成 AI の基盤モデルにアクセスできます。
- Vertex AI Conversation (旧称 Gen App Builder) を使用すると、基盤モデルと会話型 AI を活用して、マルチモーダルチャットや音声エージェントを作成できます。
- Vertex AI Model Garden では、大規模言語モデル、テキスト画像変換モデル、画像からテキストへの変換モデル、マルチモーダルモデルなどの生成 AI 基盤モデルにアクセスできます。
- Vertex AI Search を使用すると、基盤モデル、検索テクノロジー、および推奨テクノロジーを活用して、マルチモーダルなセマンティック検索と質問応答サービスを作成できます。

- Vertex AI Studio は、生成 AI モデルを迅速にプロトタイピングおよびテストするための Google Cloud コンソール内のユーザー インターフェースです。
- 企業向け NotebookLM を使用すると、生成 AI を活用してデータから情報を要約および抽出できます。
- Agentspace は、AI エージェント、Gemini モデル、Google 検索テクノロジーを組み合わせ、企業のデータソースとアプリケーションに接続し、ワークフロー自動化、検索機能、生成 AI 機能を提供することで自動化を実現し、従業員の生産性を向上させます。

生成 AI サービスには、サービスの生成 AI 機能も含まれます。

エージェント AI サービス

- Agentspace

エージェント AI サービスには、サービスのエージェント AI 機能も含まれます。

Vertex AI in Firebase: Vertex AI in Firebase を使用すると、Vertex AI Gemini API を活用してアプリケーションに生成 AI 機能を追加できます。なお、Vertex AI Gemini API では、Firebase システムと Firebase プロダクトに統合されているサービス API レイヤーと SDK が用意されています。Swift、Kotlin、Dart、JavaScript の慣用的な言語に対応しているとともに、App Check と連携します。

API 管理

Apigee と Apigee Edge: Apigee と Apigee Edge は、ライフサイクル全体を対象とした API 管理プラットフォームであり、API の設計、セキュリティ確保、分析、スケーリングを可能にし、API 管理の可視化と制御を実現します。

- Apigee: Apigee には、フルマネージド サービスである Apigee X と、顧客自身が部分的にホストおよび管理するハイブリッド モデルである Apigee ハイブリッドが用意されています。
- Apigee Edge: フルマネージド サービスとして利用可能な Apigee Edge と、セルフホスト型プレミアム ソフトウェア ソリューションとして利用可能な Apigee Private Cloud が用意されています。

API Gateway: API Gateway は、API の開発、デプロイ、セキュリティ確保を支援するフルマネージド サービスであり、Google Cloud Platform 上で実行されます。

Application Integration: Application Integration は Integration Platform as a Service (iPaaS) であり、さまざまなビジネスの運営をサポートするために必要な多数のアプリケーションとデータを接続し、管理するための包括的な統合ツール群を提供します。Application Integration には、一元化されたドラッグ & ドロップ式の統合デザイナー インターフェース、統合を呼び出すためのトリガー、構成可能なタスクのほか、各ターゲット アプリケーションのネイティブ プロトコルを使用してビジネス アプリケーション、テクノロジー、その他のデータソースへの接続を可能にする多数のコネクタが用意されています。

Cloud Endpoints: Cloud Endpoints は、Google Cloud Platform 上で実行される API の開発、デプロイ、セキュリティ確保、モニタリングに役立つツールです。

Integration Connectors: Integration Connectors は、各ターゲット アプリケーションのネイティブ プロトコルを使用して、ビジネス アプリケーション、テクノロジー、その他のデータソースに接続できるようにするプラットフォームです。これらのコネクタを通じて確立された接続は、整合性のある標準インターフェースを通じて Application Integration などの他のサービスで使用可能なさまざまなデータソースへのアクセスを管理するのに役立ちます。

コンテナ サービス

オープンソースのコンテナ スケジューラである Kubernetes を活用した Google Kubernetes Engine を使用すると、Google Cloud Platform 上でコンテナを実行できます。Kubernetes Engine を使用すると、基盤となる仮想マシンクラスタのプロビジョニングと保守、アプリケーションのスケーリングのほか、ロギング、モニタリング、クラスタのヘルス管理などの運用業務の整備に対処できます。サービスに含まれるものは以下のとおりです。

- GKE Enterprise: GKE Enterprise は、ハイブリッド クラウド環境全体で実行される最新のアプリケーションを構築および管理するために設計されたソリューションです。
 - Config Sync: Config Sync は GKE Enterprise の一部として提供され、複数の Kubernetes クラスタ間で一貫した構成を可能にするソリューションです。構成はバージョン管理された単一の信頼できるソースとして保存され、クラスタに自動的に適用されます。
- Policy Controller: Policy Controller は、Kubernetes クラスタ用のプログラム可能なポリシーの適用と実行を可能にするポリシー管理ソリューションです。これらのポリシーは「ガードレール」として機能し、クラスタとフリートのベスト プラクティス、セキュリティ、コンプライアンス管理に役立ちます。
- Identity Service: Identity Service は、認証を目的とする既存の ID ソリューションを複数の環境で利用できるようにする認証サービスです。ユーザーは、既存の ID プロバイダを使用して、コマンドラインまたは Google Cloud コンソールからクラスタにログインしアクセスできます。
- GKE Enterprise と Google Cloud Platform サービスのインテグレーション: Google Cloud Platform のサービスとコンポーネントは、Google Kubernetes Engine (GKE) などの GKE Enterprise デプロイメントや、Cloud Logging、Cloud Monitoring、Google Cloud Platform Marketplace に関連して使用できます。
- GKE Enterprise プレミアム ソフトウェア: GKE Enterprise には、プレミアム ソフトウェアとして以下にリストされているソフトウェア コンポーネントが含まれています。
- Cloud Service Mesh: Cloud Service Mesh は、(i) 相互認証のためにサービス メッシュ内の顧客のワークロードを識別する暗号化証明書を発行するマネージド証明局と、(ii) 顧客が各自のサービスを管理およびモニタリングするためのテレメトリーを含むマネージド サービスです。顧客は、サービスのインベントリを示す詳細を受け取って、各自のサービスの依存関係を把握できます。また、サービスをモニタリングするための指標を受け取り、(iii) メッシュ内のユーザー サービスのトラフィックを管理することができます。明確にするために記すと、このサービスには Cloud Service Mesh -- Software は含まれていません(プレミアムソフトウェアについては、以下をご覧ください)。
- GKE Autopilot: GKE Autopilot は GKE での運用モードの一つであり、ノード、スケーリング、セキュリティ、その他の事前構成された設定など、クラスタ構成を Google が管理します。Autopilot クラスタは、ほとんどの本番環境ワークロードを実行するように最適化されており、Kubernetes マニフェストに基づいてコンピューティング リソースをプロビジョニングします。この合理化された構成は、クラスタとワークロードの設定、スケーラビリティ、セキュリティに関する GKE のベスト プラクティスと推奨事項に準拠しています。
- Connect: Connect は、クラスタ内の Connect ソフトウェア エージェントへの接続を通じて、Google がホストするコンポーネントとユーザーの両方がクラスタを操作できるようにするサービスです。
- GKE Hub: GKE Hub は、Google のクラウド、顧客のデータセンターでのオンプレミス、その他のサードパーティ クラウドなど、さまざまな環境で実行されているクラスタをユーザーが登録できるようにする集中型コントロール プレーンです。GKE Hub では、顧客が自ら登録したクラスタ上の機能とサービスを集中管理できます。

Google が管理するマルチクラウド サービス

*BigQuery Omni: BigQuery Omni は、Google が管理するマルチクラウド分析ソリューションです。これを使用すると、アナリストは Google Cloud 上の単一の BigQuery コントロール プレーンから、対応している他のパブリッククラウド上に保存されているデータにアクセスして、そのデータを分析できます。

ベアメタル

Bare Metal Solution: Bare Metal Solution を使用すると、Google の復処理者のデータセンター内で専用のベアメタル ハードウェア(サーバーおよび接続ストレージ)を運用および管理し、特殊なワークロードを低レイテンシで実行できます。

移行

BigQuery Data Transfer Service: BigQuery Data Transfer Service は、設定されたスケジュールに基づき、SaaS アプリケーションから BigQuery へのデータの移動を自動化するマネージド サービスです。BigQuery Data Transfer Service を使用すると、Google 広告、キャンペーン マネージャー、Google アド マネージャー、YouTube などの SaaS アプリケーションから BigQuery にデータを転送できます。

BigQuery Migration Service: BigQuery Migration Service は、既存のデータ ウェアハウスを BigQuery に移行するためのソリューションです。これには、評価と計画から実行と検証までの各移行フェーズで活用できるバッチ SQL トランスレータやインタラクティブ SQL トランスレータなどのツールが含まれています。

Database Migration Service: Database Migration Service は、ダウンタイムを最小限に抑えながら、大規模で忠実度が高い移行を簡単に実行できるフルマネージドの移行サービスです。Database Migration Service を使用すると、オンプレミス環境、Compute Engine、その他のクラウドから、最小限のダウンタイムで Google Cloud の特定のマネージド データベースに移行できます。

Google Distributed Cloud コネクテッド アプライアンス サービス(旧称 Google Distributed Cloud Edge Appliance サービス): Google Distributed Cloud コネクテッド アプライアンス サービスを使用すると、顧客のオンプレミス環境に導入された堅牢なハードウェア上で Google Kubernetes Engine のプライベート クラスタを実行できます。Google Distributed Cloud コネクテッド アプライアンス サービスを使用すると、帯域幅に制限がある場所でのストレージ、低レイテンシ処理、ML/AI 推論のためにセンサーデータをオフロードできます。

Migration Center: Migration Center は、ツール、ベストプラクティス、データドリブンな規範的ガイダンスを提供し、ビジネスケースの開発、環境の調査、ワークロードのマッピング、移行計画、財務分析、基盤のセットアップ、移行の実行を通じて Google Cloud へのエンドツーエンドの移行プロセスを促進します。

Migrate to Virtual Machines: Migrate to Virtual Machines は、フルマネージドの移行サービスです。これを使用すると、レプリケーション ベースの移行テクノロジーを活用して、ダウンタイムを最小限に抑えながら、ワークロードを Google Cloud Compute Engine に大規模に移行できます。

Storage Transfer Service: Storage Transfer Service を使用すると、大量のオンライン データを Cloud Storage に費用対効果の高い方法で迅速にインポートできます。Storage Transfer Service を使用すると、Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)などの一般的なインターネット プロトコル(HTTP / HTTPS など)でアクセス可能な場所からデータを転送できるほか、Google Cloud プロダクト間(2 つの Cloud Storage バケット間など)でデータを転送することもできます。また、Storage Transfer Service を使用して、プライベート データセンター ストレージ(NFS など)と Google Cloud プロダクトとの間でデータを移動することもできます(NFS から Cloud Storage への転送など)。

Transfer Appliance: Transfer Appliance は、ハードウェア アプライアンスとソフトウェアを使用して、大量のデータを費用対効果の高い方法で Google Cloud Platform に迅速に転送するソリューションです。

セキュリティと ID

セキュリティ

アクセスの透明性: アクセスの透明性は、Google 管理者が手動でターゲットにアクセスしたときに、準リアルタイムでそのログを収集し、Cloud Logging アカウントを通じて顧客に送信します。

Assured Workloads: Assured Workloads には、クラウド環境に適用されるセキュリティ管理策を作成する機能があります。このようなセキュリティ管理策は、コンプライアンス要件 (FedRAMP Moderate など) の遵守に役立ちます。

Audit Manager: Audit Manager は、Google Cloud Platform を通じて対応している、選択的なコンプライアンス標準に対する責任共有マトリックスを提供します。Audit Manager を使用すると、ワークロードに対してコンプライアンス評価を実施し、コンプライアンス監査の裏付けとなるエビデンスを生成できます。

Binary Authorization: Binary Authorization を使用すると、明示的に承認された署名済みワークロードアーティファクトだけを確実に本番環境にデプロイできます。また、Binary Authorization には、組織の安全なサプライチェーンポリシーを公式化および体系化するためのツールが備わっています。

Certificate Authority Service: Certificate Authority Service は、クラウドまたはオンプレミスのワークロード用の証明書を発行し管理できる、クラウドホスト型の証明書発行サービスです。Certificate Authority Service を使用すると、Cloud KMS キーを利用して認証局を作成できます。この認証局では、下位証明書とエンド エンティティ証明書の発行、取り消し、更新が可能です。

Certificate Manager: Certificate Manager を使用すると、証明書の使用場所や取得方法の管理と、証明書のステータスの確認を一元的に行うことができます。

Cloud Asset Inventory: Cloud Asset Inventory は、クラウド アセットの履歴付きインベントリです。Cloud Asset Inventory を使用すると、特定のタイムスタンプにおけるクラウド リソース メタデータまたは一定の期間内のクラウド リソース メタデータ履歴をエクスポートできます。

Cloud External Key Manager (Cloud EKM): Cloud EKM では、Google のインフラストラクチャ外部にデプロイされたサードパーティ製の鍵管理システムで保存および管理されている暗号鍵を使用して、Google Cloud Platform 内のデータを暗号化できます。

Cloud HSM: Cloud HSM (Hardware Security Module) は、暗号鍵を保護し、マネージド HSM サービス内で暗号化操作を実行できる、クラウドホスト型の鍵管理サービスです。さまざまな対称鍵と非対称鍵の生成、使用、ローテーション、破棄を行うことができます。

Cloud Key Management Service: Cloud Key Management Service は、オンプレミスと同じ方法でクラウド サービスの暗号鍵を管理できる、クラウドホスト型の鍵管理サービスです。AES256、RSA 2048、RSA 3072、RSA 4096、EC P256、EC P384 の各規格の暗号鍵を生成、使用、ローテーション、破棄することができます。

Key Access Justifications (KAJ): KAJ は、Cloud EKM 経由で送信され、データのステータスを保存中から使用中に変更することを許可する暗号鍵を求めるすべてのリクエストに対する理由を提供します。

Model Armor: Model Armor は生成 AI アプリケーションをさまざまなセキュリティおよび安全性のリスクから保護するフルマネージド サービスです。LLM のプロンプトと回答をスクリーニングすることで、ランタイム保護を実行します。プロンプト インジェクションやジェイルブレイク、悪意のある URL、機密データの漏洩、不快なコンテンツなど、複数の脅威に対する防御機能を備えています。

Risk Manager: Risk Manager を使用すると、クラウド環境をスキャンし、CIS ベンチマークなどの業界標準のセキュリティ ベスト プラクティスへの準拠に関するレポートを生成できます。生成したレポートは、保険会社や仲介業者と共有できます。

Security Command Center: Security Command Center は、脆弱性と脅威の報告を一元的に行う Google Cloud のサービスです。Security Command Center は、アセットのインベントリとディスカバリーを提供します。また、Security Command Center を使用すると構成ミス、脆弱性、脅威を特定することができるため、リスクの軽減と修復に役立ちます。

Sensitive Data Protection (Cloud Data Loss Prevention: DLP を含む): Sensitive Data Protection はフルマネージド サービスであり、このサービスを使用すると、個人を特定できる情報などのセンシティブ データを検出、分類、匿名化、保護できます。

VPC Service Controls: VPC Service Controls を使用すると、管理者は API ベースのクラウド サービス (Cloud Storage、BigQuery、Bigtable など) のリソースのセキュリティ境界を構成し、承認済み VPC ネットワークへのアクセスを制限することで、データの流出リスクを軽減できます。

Secret Manager: Secret Manager は、API キー、パスワード、証明書、その他のセンシティブ データを保存する安全かつ便利な方法を提供します。

Web Security Scanner: Web Security Scanner はウェブ アプリケーションのセキュリティ スキャナです。これを使用すると、App Engine と Compute Engine 上に構築されたウェブサイト内のウェブ アプリケーションに存在する一般的な脆弱性のサブセットを簡単にチェックできます。

ID とアクセス

Access Approval: Access Approval を使用すると、顧客は、各自のデータまたはワークロードをターゲットとした Google 管理者による適格な手動アクセスを、そのアクセス前に承認できます。

Access Context Manager: Access Context Manager を使用すると、Google Cloud 組織管理者は、プロジェクト、アプリ、リソースに対するきめ細かい属性ベースのアクセス制御を定義できます。

Chrome Enterprise Premium (旧称 BeyondCorp Enterprise): Chrome Enterprise Premium は、企業ユーザーへのゼロトラスト アプリケーション アクセスを実現し、データ漏洩、マルウェア、フィッシング攻撃から企業を保護できるように設計されたソリューションです。Chrome Enterprise Premium は、以下のようなクラウドベースのサービスとソフトウェア コンポーネントが組み込まれた統合プラットフォームです。

- **On-premises Connector:** Google Cloud Platform から Google Cloud Platform 以外の環境にデプロイされたアプリケーションや VM に Identity-Aware Proxy トラフィックを転送します。
- **App Connector:** 顧客が所有する仮想マシンにインストールされたリモート エージェントを使用した、Google 以外のクラウド環境にある限定公開アプリケーションへの安全なアクセスを実現します。
- **Endpoint Verification:** これを使用すると、管理者はデバイスのインベントリを作成し、デバイスのセキュリティ ポスチャーを設定できます。
- **脅威対策とデータ保護サービス:** 脅威インテリジェンスを集約することで、マルウェアの転送、フィッシング、悪意のあるサイトへのアクセス、機密データの漏洩から企業ユーザーを保護するように設計された一連のセキュリティ サービスです。
- **Chrome Enterprise Core:** これを使用すると、管理対象の Chrome ブラウザをマルウェア、フィッシング、データ漏洩から保護できます。

- その他の機能は、<https://chromeenterprise.google/products/chrome-enterprise-premium/> または 後継 URL に記載されています。

Cloud Identity サービス: Cloud Identity サービスは、<https://cloud.google.com/terms/identity/user-features.html> または Google が提供するその他の URL に記載されているサービスとエディションです。

Firebase App Check: Firebase App Check は、アプリの ID とデバイスの完全性を確認するためのプラットフォーム固有の証明書を使用して、API へのアクセスを保護できるサービスを提供しています。

*Firebase Authentication: Firebase Authentication は、Firebase プラットフォームの一部として、アプリケーション内のユーザーを認証および管理するサービスを提供しています。メールとパスワード、電話番号、Google や Facebook などの一般的なフェデレーション ID プロバイダを使用した認証に対応しています。

Google Cloud Identity-Aware Proxy: Google Cloud Identity-Aware Proxy は、ユーザーの ID とグループ参加状況に基づいて、Google Cloud Platform 上で実行されているアプリケーションへのアクセスを制御できるツールです。

Identity and Access Management (IAM): IAM を使用すると、管理者は特定のリソースに対して誰がどのようなアクションを実行できるかを制御することで、クラウド リソースを一元的に管理できます。

Identity Platform: Identity Platform には、ユーザーの ID とユーザーによるアプリケーションへのアクセスを管理するための機能とツールが備わっています。Identity Platform は、メールとパスワード、電話番号、Google や Facebook などの一般的なフェデレーション ID プロバイダなど、さまざまな方法によるユーザーの認証と管理に対応しています。

Managed Service for Microsoft Active Directory (AD): Managed Service for Microsoft Active Directory は、Microsoft AD を実行する Google Cloud サービスです。このサービスにより、AD に依存するクラウドベースのワークロードとアプリケーションのデプロイ、構成、管理が可能になります。可用性の高いフルマネージド サービスであり、ネットワークファイアウォール ルールを適用し、オペレーティング システムのパッチによって AD サーバーを最新の状態に保ちます。

組織のポリシー: 組織のポリシーは、リソース階層全体にわたってリソース構成のコンプライアンスを一元的に強制するためのカスタマイズ可能なセキュリティ ガードレールを実現します。

Resource Manager API: Resource Manager API を使用すると、Google Cloud Platform コンテナ リソース (組織やプロジェクトなど) をプログラムによって管理できます。また、コンテナ リソースを活用することで、他の Google Cloud Platform リソースをグループ化して階層的に整理できます。この階層的組織を使うと、アクセス制御や構成設定など、リソースに共通のルールを容易に管理できます。

Google Distributed Cloud

Google Distributed Cloud コネクテッド (旧称 Google Distributed Cloud Edge): Google Distributed Cloud コネクテッドを使用すると、オンプレミス環境にある専用ハードウェア上で Google Kubernetes Engine のプライベートクラスタを実行できます。このソリューションを使用すると、Google Cloud Platform への VPN 接続も可能になり、Virtual Private Cloud で実行されている他の Google Cloud サービスや他のアプリケーションを操作できるようになります。

パートナーによる主権管理

パートナーによる主権管理: パートナーによる主権管理は、Google が提供する一連のサービスで構成されるソリューションです。このソリューションは、パートナー事業者(「主権管理パートナー」)が別個の利用規約に基づいて提供する一連のサービスによって補完されます。これらすべてのサービスによって特定のサービスに対する追加のセキュリティ管理策が構築されます。また、関連する主権管理パートナーは、それらのサービスに対して追加のセキュリティ対策を提供できるようになります。詳細については、<https://cloud.google.com/terms/in-scope-sovereign-cloud> を参照してください。

ユーザー保護サービス

reCAPTCHA Enterprise: reCAPTCHA Enterprise は、ウェブサイト上の不正行為の検出に役立ちます。

Web Risk API: Google では、安全でないウェブリソースのリストを常に更新しています。Web Risk API とは、このリストに照らし合わせてクライアント アプリケーションが URL をチェックできるようにする Google Cloud サービスです。

サーバーレス コンピューティング

Cloud Run: Cloud Run(フルマネージド)を使用すると、フルマネージド環境でステートレス コンテナを実行できます。

Cloud Run functions(旧称 Cloud Functions): Cloud Run functions は、イベントベースで非同期の軽量なコンピューティング ソリューションです。このソリューションを使用すると、サーバーやランタイム環境を管理することなく、クラウド イベントに応答する単一目的の小規模な関数を作成できます。

*Cloud Functions for Firebase: Cloud Functions for Firebase を使用すると、メンテナンス不要かつ限定公開であるスケーラブルな Node.js ホスト環境に JavaScript コードをデプロイするだけで、イベントに応答し、他の Firebase 機能によって公開されている機能呼び出すコードを記述できます。

Cloud Scheduler: Cloud Scheduler は、エンタープライズ クラスのフルマネージド cron ジョブ スケジューラです。これを使用すると、バッチ処理、ビッグデータ ジョブ、クラウド インフラストラクチャ オペレーションなど、実質的にほぼすべてのジョブをスケジューリングできます。障害時の再試行といった作業をすべて自動化するため、手動作業や人的な介入を削減できます。さらに、Cloud Scheduler は一元化されたインターフェースとして機能し、自動化タスクをすべて一元管理できます。

Cloud Tasks: Cloud Tasks はフルマネージド サービスであり、これを使用すると、大量の分散タスクを実行、ディスパッチ、配信することができます。また、Cloud Tasks を使用すると、ユーザー リクエストやサービス間リクエストの外部で作業を非同期実行できます。Cloud Tasks には、分散タスクキューのすべての利点が備わっています。利点の例としては、負荷の高いバックグラウンド プロセスや長時間実行されるプロセスをタスクキューにディスパッチできるタスク オフロードや、マイクロサービス間の疎結合による独立したスケーリング、タスクがストレージに保持され自動的に再試行されることによるシステムの信頼性の向上、断続的な障害に対するインフラストラクチャのレジリエンスの強化などが挙げられます。

Eventarc: Eventarc は、Google Cloud Platform 上でイベントを処理するためのフルマネージド サービスです。Eventarc がさまざまな Google Cloud サービスを接続することで、ソースサービス(Cloud Storage など)はターゲット サービス(Cloud Run や Cloud Run functions など)に配信されるイベントを出力できるようになります。

Workflows: Workflows は、マイクロサービス、Google Cloud サービス、HTTP ベースの API にわたって一連のオペレーションを確実に実行できるようにするためのフルマネージド サービスです。

管理ツール

Google Cloud App: Google Cloud App は、主要な Google Cloud サービスを管理するためのネイティブ モバイルアプリです。モニタリングやアラート発信をするほか、リソースに対するアクションを実行できます。

Cloud Deployment Manager: Cloud Deployment Manager は、開発者や管理者が Google Cloud Platform 上でインフラストラクチャをプロビジョニングして管理できるようにするためのホスト型構成ツールです。宣言型モデルを使用するため、ユーザーはアプリケーションの実行に必要なリソースを定義または変更してから、それらのリソースをプロビジョニングおよび管理できます。

Cloud Shell: Cloud Shell は、ブラウザから直接クラウド リソースにコマンドライン アクセスするためのツールです。Cloud Shell を使用すると、テストの実施、Cloud SDK コマンドの実行、プロジェクトとリソースの管理、組み込みのウェブエディタによる簡易的なソフトウェア開発が可能になります。

Recommender: Recommender は、使用パターンを自動分析し、サービス全体にわたる推奨事項と分析情報を提供し、Google Cloud Platform をより安全かつ費用対効果が高い方法で、効率的に使用できるようにします。

Service Infrastructure: API とサービスを作成、管理、保護、消費する際の基盤となるプラットフォームです。Service Infrastructure に含まれるものは以下のとおりです。

- Service Management API: サービス プロデューサーが API とサービスを管理できるようにします。
- Service Consumer Management API: サービス プロデューサーがサービス ユーザーとの関係を管理できるようにします。
- Service Control API: アドミッション コントロールとテレメトリ報告のために、マネージド サービスが Service Infrastructure と統合することを可能にします。
- Service Usage API: サービス ユーザーが各自の API とサービスの使用状況を管理できるようにします。

ヘルスケアとライフ サイエンス

Cloud Healthcare: Cloud Healthcare は、ヘルスケアとライフ サイエンスのデータを送信、受信、保存、クエリ、変換、分析し、非常にスケーラブルでコンプライアンス重視のインフラストラクチャを使用して高度な分析と運用ワークフローを実現するフルマネージド サービスです。

*Healthcare Data Engine (HDE): HDE は、(1)ヘルスケア データを Fast Healthcare Interoperability Resources (FHIR) 標準に調和させ、(2)ヘルスケア データを分析環境にストリーミングできるようにするソリューションです。

メディアとゲーム

Live Stream API: Live Stream API は、24 時間 365 日のライブラリア イベントまたはライブイベント用に高画質の投稿フィードを処理し、デジタル配信用にストリームを作成するクラウドベースのライブ エンコーダです。最新の動画コーデックを使用して動画と音声のエレメンタリ ストリームを圧縮し、標準化されたコンテナ形式でストリームをパッケージ化して、すべての IP 接続済みデバイスに配信します。

Transcoder API: Transcoder API は、メディア ファイルを最適化された形式に一括変換し、ウェブ、モバイル、リビングルーム デバイス間でのストリーミングを実現します。Google のストレージ、ネットワーキング、配信インフラストラクチャを活用しながら、高度なコーデックを高速かつ容易に、大規模処理できます。

Video Stitcher API: Video Stitcher API を使用すると、サーバーサイドの動画挿入テクノロジーを使用してコンテンツや広告を動的に挿入できます。動画と広告は、ビデオ オンデマンド (VOD) またはライブ ストリーム用の単一のストリームに調整され、柔軟かつターゲットを絞ったパーソナライズを大規模に実現します。

Google Cloud Platform プレミアム ソフトウェア

プレミアム ソフトウェアとして Google Cloud Platform サービス固有の利用規約が適用される利用可能なソフトウェア コンポーネントは、以下のリストに示すとおりです。

AlloyDB Omni は AlloyDB のダウンロード可能なバージョンです。これを使用すると、顧客は独自のデータセンター、任意のクラウド、開発者のノートパソコンで実行できます。PostgreSQL に対応したデータベースであり、Google Cloud の AlloyDB に実装されている多数のパフォーマンスと管理性の向上が図られています。AlloyDB Omni のデベロッパー版は Google Cloud Platform ソフトウェアであり、Google Cloud Platform プレミアム ソフトウェアではありません。

*Apigee ハイブリッド ランタイム: Apigee ハイブリッド ランタイムを使用すると、データセンター内の Kubernetes 上のコンテナで Apigee ランタイム プレーンを実行できます。

*Apigee Private Cloud: Apigee Private Cloud を使用すると、Apigee を完全にデータセンター内でホストして実行できます。

*Automotive AI Agent プレミアム ソフトウェア: Automotive AI Agent には、音声および自然言語のモデル(トレーニング済みの音声エージェントを含む)のオンアセットでのデプロイとサービングを可能にする次のプレミアム ソフトウェア コンポーネントが含まれています。

- AAA SDK
- Speech-to-Text オンデバイス モデル
- Text-to-Speech オンデバイス モデル
- AAA 自然言語モデル

Cloud Vision OCR On-Prem: Cloud Vision OCR On-Prem を使用すると、データセンター内および複数のクラウド環境にわたって Cloud Vision OCR モデルを実行できます。

GKE Enterprise: GKE Enterprise には、次のプレミアム ソフトウェア コンポーネントが含まれています。

- GKE Enterprise コア ソフトウェア: GKE Enterprise コア ソフトウェアを使用すると、Kubernetes 上でコンテナを実行できます。また、GKE Enterprise コア ソフトウェアは、独自のデータセンター内のオンプレミス環境 (Google Distributed Cloud Virtual) に導入できるほか、プライベート クラウドとパブリック クラウドにも導入できます。
- Cloud Service Mesh - Software: Cloud Service Mesh - Software は、GKE Enterprise 上で信頼性の高いサービス メッシュを実行するためのツールスイートであり、GKE Enterprise にデプロイされたサービス間のトラフィックをモニタリング、管理、保護するのに役立ちます。
- Identity Service - Software: Identity Service - Software をダウンロードし、対応している種類のクラスターと環境にインストールすることで、管理者は、1 つ以上の GKE Enterprise クラスターの推奨 ID プロバイダを使用して認証を設定できます。
- Connect Software: Connect Software をダウンロードしてクラスターにインストールすることにより、顧客が登録したクラスターと Google Cloud との間の接続が可能になります。
- GKE Enterprise 用の Cloud Logging および Cloud Monitoring: Cloud Logging と Cloud Monitoring は、さまざまなハイブリッド クラウド環境にデプロイできます。これらを使用すると、一元的なログ保管、ログ

分析、指標のキャプチャ、指標の傾向分析、カスタム アラートの発信、アプリケーションのデバッグトレースが可能になります。

Speech-to-Text On-Prem: Speech-to-Text On-Prem を使用すると、データセンター内および複数のクラウド環境にわたって Cloud Speech-to-Text モデルを実行できます。

Telecom Subscriber Insights: Telecom Subscriber Insights は、通信サービス プロバイダ (CSP) が独自の既存のデータソースを使用して安全に分析情報を抽出できるように設計されています。Telecom Subscriber Insights は、データを取り込んで分析する AI モデルを活用して、推奨される加入者エンゲージメント アクションを CSP に提供します。

Google Cloud Platform ソフトウェア

ソフトウェアとして Google Cloud Platform サービス固有の利用規約が適用される利用可能なソフトウェア コンポーネントは、以下の非排他的リストに示すとおりです。

- ABAP SDK for Google Cloud を使用すると、SAP アプリケーションと Google Cloud との間に、ネイティブな双方向のインテグレーションが実現します。
- BigQuery Connector for SAP は、SAP Landscape Transformation Replication Server と連携して、SAP NetWeaver ベースのアプリケーション データの変更を準リアルタイムで BigQuery に直接複製します。
- CCAI Connector: CCAI Connector を使用すると、オンプレミスの以前のテレフォニー プラットフォームを備えたエンタープライズ コンタクト センターを Dialogflow Essentials、Dialogflow CX、Agent Assist、Conversational Insights に接続できるようになります。
- Config Connector は、Kubernetes 構成ファイルを通じて Google Cloud リソースを管理できる Kubernetes アドオンです。
- Deep Learning VM とコンテナ: Deep Learning VM とコンテナは、Google Kubernetes Engine (GKE)、Vertex AI、Cloud Run、Compute Engine、Kubernetes、Docker Swarm でカスタマイズして使用できる AI フレームワークを備えた仮想マシンと Docker イメージを提供します。
- Google Cloud SDK: Google Cloud SDK は、Google Cloud Platform でホストされるリソースやアプリケーションを管理するための一連のツールです。これには、Google Cloud コマンドライン インターフェイス (CLI)、Google Cloud Platform サービスにプログラムによってアクセスするための Cloud クライアントライブラリ、gsutil、kubectl、bq コマンドライン ツール、ローカル プラットフォーム開発用のさまざまなサービスとデータ エミュレータが含まれます。Google Cloud SDK は、Google Cloud Platform への主要なプログラミング インターフェイスを提供します。
- Kf を使用すると、オープンソースの Cloud Foundry プラットフォームから Google Kubernetes Engine のコンテナにアプリケーションを移行して実行できます。
- Migrate to Containers を使用すると、オンプレミスまたは他のクラウドの仮想マシンから Google Kubernetes Engine や Cloud Run のコンテナにアプリケーションを移行して実行できるほか、最新の CI/CD や Google Cloud サービスと統合するためのコンテナとデータ アーティファクトを生成できます。移行したコンテナ イメージとアーティファクトは移植可能で、該当するソフトウェア ドキュメントに記載されているさまざまな Google Kubernetes Engine と Cloud Run のハイブリッド構成で使用できます。Migrate to Containers により、アプリケーションを書き換える必要性が最小限に抑えられます。

- Migrate for Compute Engine v4.X を使用すると、ダウンタイムとアプリケーションの書き換えを最小限に抑えながら、アプリケーションを検証および実行したり、オンプレミスまたは他のクラウドから Compute Engine に移行したりできます。

SecOps サービスの概要

SecOps サービスの一覧は、<https://cloud.google.com/terms/secops/services?hl=ja> に掲載されており、このサービスの概要に組み込まれています。Google Cloud パートナー プログラムまたは販売パートナー プログラムに基づき、Google Cloud Platform の再販または提供は許可されているものの、SecOps サービスの再販または提供は許可されていないパートナー様または販売パートナー様の場合、SecOps サービスの概要に含まれるサービスは、本契約における「サービス」または「プロダクト」ではありません。

以前のバージョン(最終更新日: 2025 年 7 月 1 日)

[2025 年 4 月 16 日](#)

[2025 年 4 月 8 日](#)

[2025 年 1 月 30 日](#)

[2024 年 10 月 24 日](#)

[2024 年 10 月 22 日](#)

[2024 年 10 月 7 日](#)

[2024 年 9 月 30 日](#)

[2024 年 9 月 24 日](#)

[2024 年 9 月 5 日](#)

[2024 年 8 月 28 日](#)

[2024 年 8 月 21 日](#)

[2024 年 6 月 27 日](#)

[2024 年 5 月 6 日](#)

[2024 年 4 月 9 日](#)

[2024 年 3 月 27 日](#)

[2024 年 3 月 18 日](#)

[2024 年 3 月 12 日](#)

[2024 年 3 月 7 日](#)

[2024 年 2 月 26 日](#)

[2024 年 2 月 15 日](#)

[2024 年 2 月 12 日](#)

[2024 年 1 月 15 日](#)

2023 年 12 月 20 日

2023 年 12 月 12 日

2023 年 11 月 15 日

2023 年 11 月 1 日

2023 年 10 月 26 日

2023 年 10 月 12 日

2023 年 10 月 11 日

2023 年 9 月 25 日

2023 年 8 月 28 日

2023 年 8 月 24 日

2023 年 8 月 14 日

2023 年 7 月 27 日

2023 年 7 月 12 日

2023 年 6 月 29 日

2023 年 6 月 22 日

2023 年 6 月 13 日

2023 年 6 月 7 日

2023 年 6 月 5 日

2023 年 6 月 1 日

2023 年 5 月 16 日

2023 年 5 月 10 日

2023 年 5 月 8 日

2023 年 5 月 2 日

2023 年 4 月 27 日

2023 年 4 月 11 日

2023 年 4 月 11 日

2023 年 3 月 30 日

2023 年 2 月 16 日

2022 年 12 月 13 日

2022 年 11 月 3 日

2022 年 10 月 11 日

2022 年 10 月 3 日

2022 年 9 月 29 日

2022 年 8 月 31 日

2022 年 8 月 22 日

2022 年 8 月 16 日

2022 年 8 月 1 日

2022 年 7 月 13 日

2022 年 6 月 28 日

2022 年 6 月 16 日

2022 年 5 月 19 日

2022 年 4 月 25 日

2022 年 4 月 12 日

2022 年 4 月 4 日

2022 年 3 月 31 日

2022 年 2 月 28 日

2022 年 2 月 2 日

2022 年 1 月 19 日

2021 年 12 月 13 日

2021 年 11 月 30 日

2021 年 10 月 18 日

2021 年 9 月 30 日

2021 年 9 月 13 日

2021 年 8 月 24 日

2021 年 7 月 20 日

2021 年 6 月 22 日

2021 年 5 月 18 日

2021 年 4 月 30 日

2021 年 4 月 14 日

2021 年 4 月 8 日

2021 年 3 月 31 日

2021 年 3 月 2 日

2021 年 2 月 4 日
2021 年 1 月 26 日
2021 年 1 月 6 日
2020 年 11 月 2 日
2020 年 9 月 15 日
2020 年 9 月 1 日
2020 年 8 月 19 日
2020 年 8 月 7 日
2020 年 7 月 27 日
2020 年 7 月 24 日
2020 年 7 月 13 日
2020 年 6 月 30 日
2020 年 6 月 9 日
2020 年 4 月 27 日
2020 年 4 月 22 日
2020 年 4 月 15 日
2020 年 4 月 9 日
2020 年 3 月 31 日
2020 年 3 月 26 日
2020 年 3 月 16 日
2020 年 3 月 11 日
2020 年 2 月 25 日
2020 年 2 月 3 日
2019 年 12 月 12 日
2019 年 12 月 3 日
2019 年 11 月 14 日
2019 年 11 月 4 日
2019 年 10 月 7 日
2019 年 10 月 1 日
2019 年 8 月 21 日
2019 年 6 月 25 日

2019 年 6 月 17 日
2019 年 5 月 31 日
2019 年 5 月 16 日
2019 年 4 月 10 日
2019 年 4 月 9 日
2019 年 3 月 11 日
2019 年 2 月 1 日
2019 年 1 月 2 日
2018 年 12 月 13 日
2018 年 12 月 3 日
2018 年 10 月 7 日
2018 年 9 月 18 日
2018 年 8 月 29 日
2018 年 8 月 16 日
2018 年 8 月 2 日
2018 年 7 月 31 日
2018 年 7 月 24 日
2018 年 7 月 10 日
2018 年 6 月 28 日
2018 年 5 月 18 日
2018 年 5 月 9 日
2018 年 5 月 8 日
2018 年 4 月 13 日
2018 年 3 月 27 日
2018 年 3 月 23 日
2018 年 3 月 21 日
2018 年 2 月 6 日
2018 年 1 月 17 日
2017 年 11 月 16 日
2017 年 11 月 13 日
2017 年 11 月 9 日

2017 年 10 月 3 日

2017 年 9 月 25 日

2017 年 9 月 13 日

2017 年 8 月 30 日